

猿

舞



うけつがれる猿舞の芸

平成29年度 企画展

# 筑豊大介の仕事

猿は古来から馬を守る霊力を持つと考えられ、猿の遣い手「猿曳」は千年も前から家々の厄を祓い、猿舞をして、当家の繁栄を祝う「祝言職」を担っていました。江戸時代になると、呪術者としての活動の場を広げる一方、村々をめぐる大道芸能者として高度な猿の芸を披露し、娯楽の少なかった庶民に多くの楽しみと活力を与え続けてきました。

このように長い歴史を持つ猿まわしの芸であれば、一朝一夕で習得できるはずはなく、厳しい修行を通じて経験豊かな親方から優れた弟子へと受け継がれてきたものと思われま

企画展では、戦後いったんはとだえてしまい、昭和50年代に山口県周防で復活した猿まわしの芸を現在に伝え、ここ筑豊にこだわって活動を続ける筑豊大介氏の仕事を紹介し、職業や社会的地位などによる差別の問題について考えてみたいと思います。

筑豊大介（ちくほう だいすけ）プロフィール

1956年山口県光市生まれ。生後100日目まで両親とともに直方市へ移住  
1975年東京演劇アンサンブルに入団。のちに演出家竹内敏晴氏に師事  
1980年俳優から猿まわしに転身 1982年元猿まわし五月三郎氏に師事  
1983年仲間と「猿舞座」を発足し全国巡演 1988年故郷の筑豊に拠点  
を移し現在も全国で活躍中

2017年 鞍手町歴史民俗博物館  
10月8日 日 ▶ 12月3日 日

開館時間：午前9時～午後5時 休館日：毎週月曜日、11月3日、19日、23日

入場無料

イベント 11月4日(土)11:00～  
筑豊大介さんによる猿まわしの実演

鞍手町歴史民俗博物館

〒807-1311

福岡県鞍手郡鞍手町大字小牧2097

TEL：0949-42-3200

主催：鞍手町教育委員会

共催：筑豊地域人権啓発活動ネットワーク協議会

鞍手町歴史民俗博物館 検索

